

医療
DX

(エーヒス)

A AHIS クラウド電子カルテ

ご紹介資料

医療DXを、中小病院のスタンダードに。



株式会社 エイトス

AHISで解決できること



- ・今は紙カルテなので管理が大変
- ・今の電カルは操作が分かりづらい
- ・5～6年で買い替えが必要
- ・保守費用も高い
- ・専任のIT管理者が必要

- ・院内のどこからでもカルテを確認
- ・誰でも使える直感UI
- ・クラウドなので買い替え不要
- ・月額サービスなので低コスト
- ・専任のIT管理者が不要

AHISの3つの強み



現場が選ぶ“ちょうどいい”電子カルテ。病棟DXにも対応。

なぜ、ORCA連動型なのか？ - AHISの低コストの理由

「ORCAと連携することで、電子カルテの開発費用を抑え、導入コストの最適化を実現」



最新のAPI連携に対応

ORCAと連携できるデータ

1. 患者情報（基本情報・保険など）
2. 受付情報
3. 病名情報
4. 診療行為（処方処置など）
5. 入退院情報
6. 転室・外泊情報
7. 食事情報（食数）
8. ADL・医療区分

ORCAから移行できるデータ

（※初期導入時のデータ変換に対応するデータ）

1. 患者情報
2. （患者別）病名情報
3. 点数マスタ（院内採用薬など）
4. 病名マスタ（自院病名）
5. 前回処方DO（※オプション対応）

💡 クラウド × ORCA連動型だから、電子カルテ導入のコストがここまで下がる。

「見やすい・使いやすい」画面設計で、現場にすぐ定着

誰でも直感的に操作できるインターフェースだから、マニュアルに頼らず現場でスムーズに使い始められます。

The screenshot displays the AHIS (Automated Hospital Information System) interface. It is divided into several main sections:

- (1) 患者情報・属性 (Patient Information & Attributes):** Located at the top, it shows patient details such as ID (30932), name (秋元 博隆), date of birth (昭和49年09月28日), and gender (男). It also includes a search bar and a list of tabs for different patient types.
- (2) 過去カルテ (Past Medical History):** This section on the left lists various medical records, including lab results, prescriptions, and other clinical notes. It includes a search bar and a list of records.
- (3) 診療履歴 (Medical History):** This section on the right shows a list of medical visits, including dates, times, and the names of the patients and doctors.
- (4) 受付ステータス (Reception Status):** This section at the bottom right shows the current status of patients, including their names, ages, and the status of their visits.

💡 UIが複雑すぎて使いこなせない——そんな電子カルテの悩みを、AHISが解決します。

日々の業務を支える便利機能を多数搭載

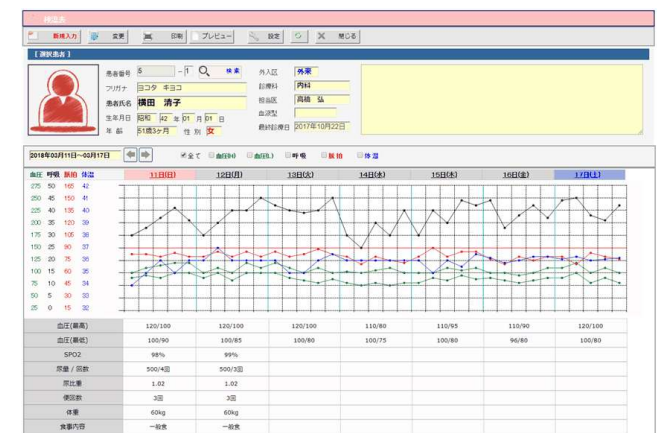
(受付状況)

(指示状況)

(検査結果)

(入院状況)

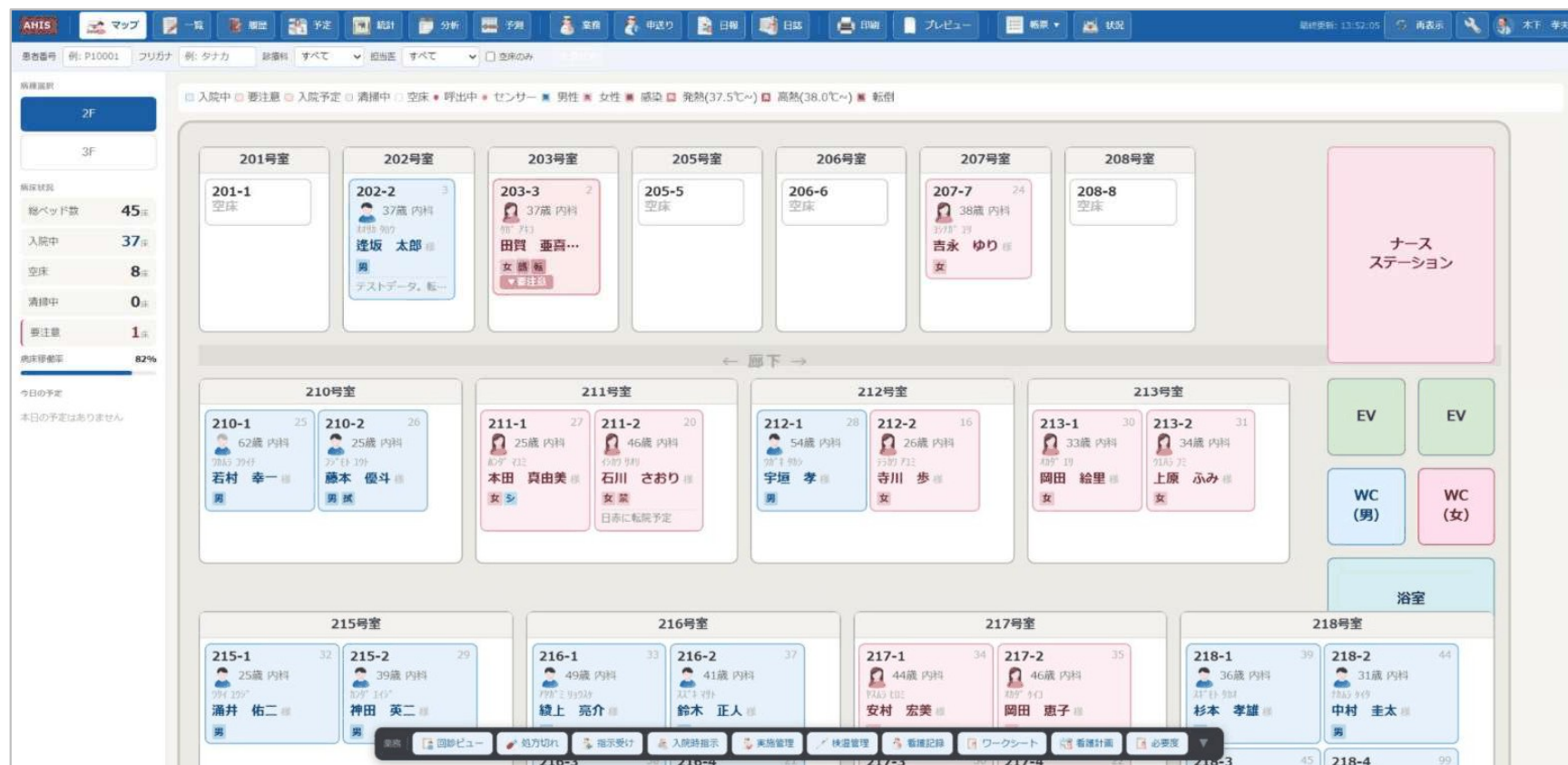
(指示簿)



(検温表)

💡 直感的な操作性とシンプルな導線設計により、スタッフ全員がすぐに使いこなせる。

新登場 | 病棟拡張オプション



病棟DXは、ベッドマップから。見てわかる、触ってできる。

💡 ベッドマップ・3点認証・バイタル自動入力で、病棟DXを実現します

病棟の現場が抱える4つの課題

1 医療安全

患者・薬剤の取り違いリスク。
感染・転倒など要注意患者の共有が口頭頼み

2 記録・転記の負担

病棟日誌や日報を手書き・転記。
同じ情報を何度も書き写している

3 施設基準への対応

看護必要度・ADL・医療区分の評価と
集計に手間がかかる（令和8年度改定）

4 病床管理

空床や入退院予定がリアルタイムに見えず、
電話や紙での確認に追われる

💡 これらの課題を、病棟拡張オプションによる病棟DXで解決します

病棟拡張オプションの全体像

ソフトウェア

★ ベッドマップ

病床状況をリアルタイムに

★ 実施管理・3点認証

患者・薬剤・実施者を照合

★ バイタル自動入力

テルモHRジョイント機器と連携

ワークシート

当日の業務を一覧で

病棟日誌・日報

入退院動態を自動集計

看護必要度

令和8年度改定に対応

看護計画・褥瘡管理

標準看護用語／褥瘡の評価・記録

ADL・医療区分

療養病棟の評価を日常業務に

在院日数分析・空床予測

最大8週先まで予測

周辺機器

リストバンドプリンタ

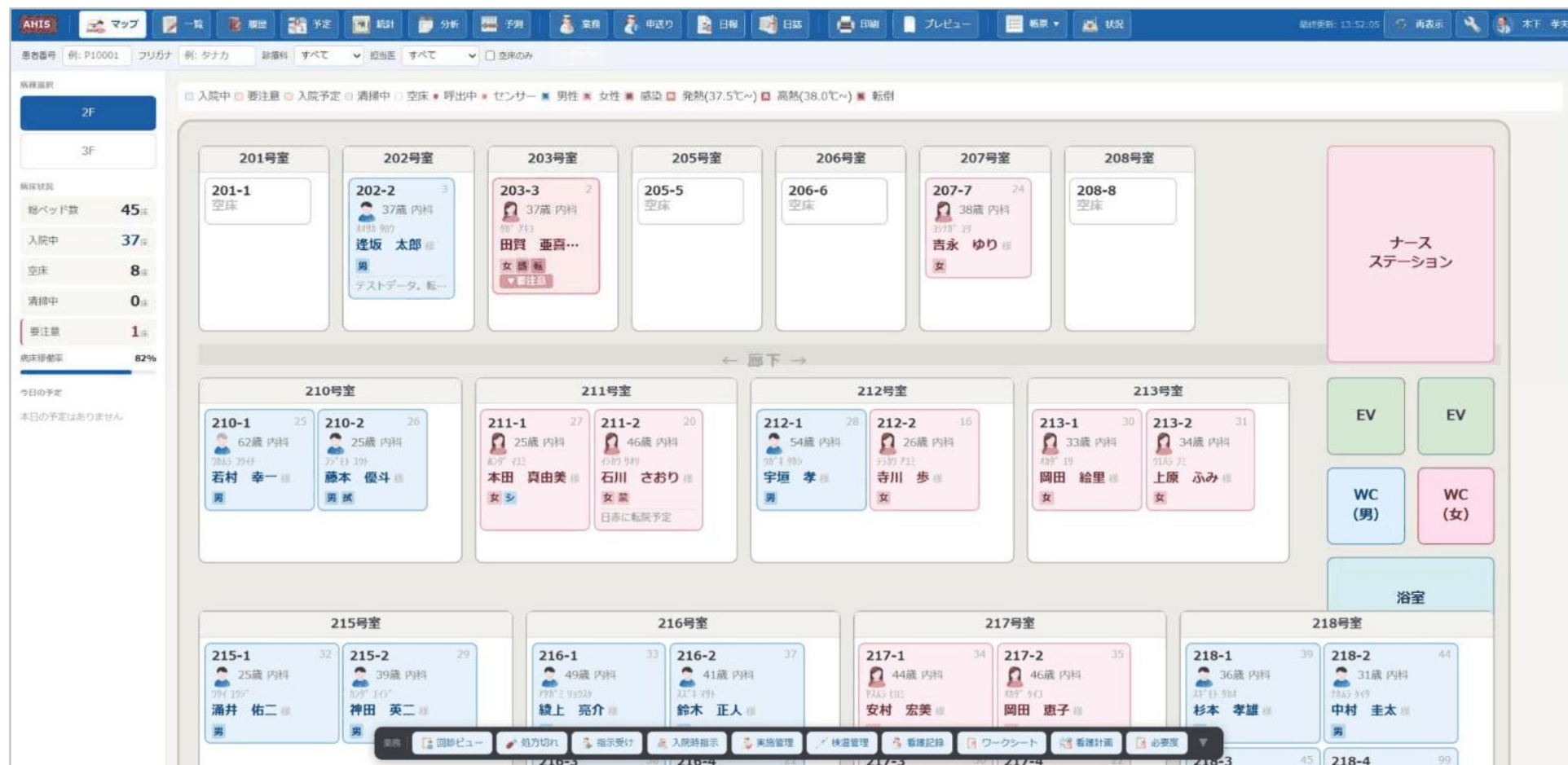
ラベルプリンタ

バーコードリーダー

NFCリーダー

※転倒転落などのリスク管理は順次対応予定です。機器構成は病棟規模に応じてご提案します。

見てわかる ― 病棟ベッドマップ



✓ 実際の病棟レイアウト

✓ 入院・空床を色分け

✓ 60秒ごとに自動更新

✓ 感染・転倒のバッジ

触ってできる — ワンクリック・ドラッグ操作



ワンクリックで患者情報

ベッドから基本情報・入院履歴・申し送り・未読の指示をすぐ確認。感染症・転倒リスクのバッジもその場で変更できます。

ドラッグ&ドロップで転室

移動先に置くだけで転室・転棟。変更は院内の全端末にすぐ反映されます。

実施3点認証 — 取り違えを、その場で止める

患者リストバンド・薬剤ラベル・実施者の3つを連続スキャンして照合

The image displays three sequential screenshots of the AHIS 3-point authentication interface. Each window has a title bar '3点認証' and a close button 'x'.
1. The first screenshot shows the '1 患者' (Patient) step. It displays patient information: '照会対象 203 田賀 亜希子 (37歳1ヶ月)' and '点滴 アミバレン輸液 2.00mL / フロセミド注射液 2.0mg 「日医工」 (ラシックス後発品) / 生理食塩液 1.00mL'. Below this is a large dashed box with an illustration of a hand scanning a wristband and the text '患者リストバンドをスキャン'. At the bottom are buttons 'やり直し' and '閉じる'.
2. The second screenshot shows the '2 薬剤ラベル' (Medication Label) step. The patient information is repeated. A large red 'X' icon is centered on the screen with the text 'この薬剤は対象患者のものではありません' (This medication is not for the target patient). Below it is a red '確認' (Check) button. At the bottom are buttons 'やり直し' and '閉じる'.
3. The third screenshot shows the '3 実施者' (Operator) step. The patient information is repeated. Below it, three steps are listed with green checkmarks: 'Step1: 患者照合 — 完了', 'Step2: 薬剤ラベル照合 — 完了 (アミバレン輸液 2.00mL / フロセミド注射液 2.0mg 「日医工」 (ラシックス後発品) / 生理食塩液 1.00mL)', and 'Step3: 実施者照合 — 完了'. A large green checkmark icon is centered on the screen with the text '3点認証が完了しました'. At the bottom are buttons 'やり直し' and '閉じる'.

① リストバンドをスキャン

照合対象の患者・指示内容を表示

② 不一致ならその場で警告

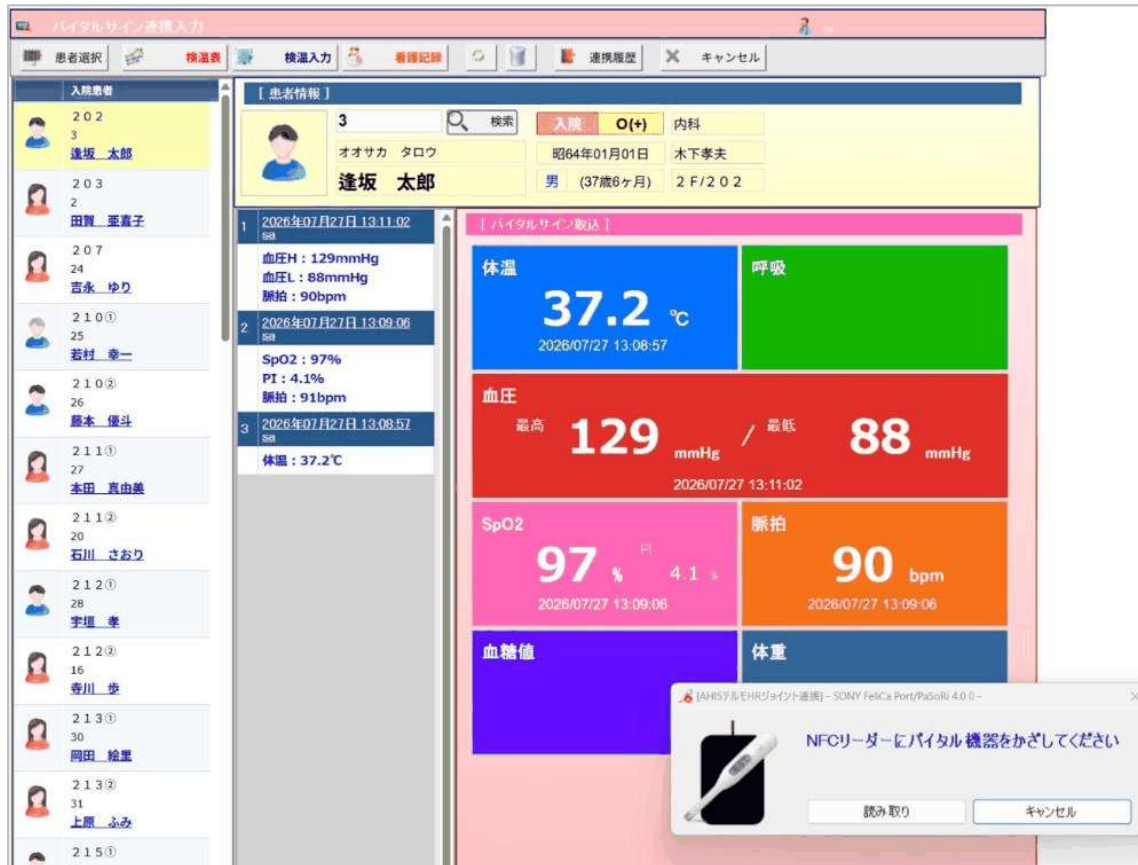
他の患者の薬剤はスキャン時点で停止

③ 3点照合が完了

実施者まで照合し、実施記録を残す

💡 照合エラーの履歴も管理。ヒヤリハットの分析・医療安全の取り組みに活用できます

バイタル自動入力 — かざすだけで記録



- ✓ **測定機器をかざすだけ**
専用リーダーに機器をかざすと測定値を取り込み
- ✓ **検温表へ自動反映**
体温・血圧・SpO2・脈拍・血糖をグラフに反映
- ✓ **転記ミス・記録時間を削減**
手書き・転記をなくし、看護師の負担を軽減

対応機器

テルモ HRジョイント対応の体温計・血圧計・パルスオキシメータ・血糖測定器

💡 測る、かざす、記録完了。看護業務の流れを変えずに導入できます

記録と評価を、日常業務の中で自動化

病棟日誌 作成 登録 印刷

病棟日誌
医療法人 エイトス病院 / 2F

① 病棟状況 ※自動集計 / 24時間集計のみ確定可

許可病床数	24時間在院患者数	病床数	病床利用率
46	36	10 床	78.3 %

② 勤務状況 ※手入力

日勤
正看護師 2 准看護師 1 看護助手 1
日勤者氏名 山田 花子、佐藤 太郎、鈴木 一子、田中 みき

夜勤
正看護師 1 准看護師 1 看護助手 1
夜勤者氏名 (複式3記載用) 高橋 健、渡辺 由美、伊藤 茂

③ 特記事項

☐ 手術あり ☐ 急変あり ☐ インシデント・アクシデントあり ☐ 感染症患者 ☐ 転倒・転落あり

④ 申し送り

202 達坂 太郎
評価日: 2026/07/24 方式: 必要度1 (オーダー参照) A: 0 B: 0 C: 0 合計: 0点

▼ A モニタリング及び処置等

項目	あり	なし	0	オーダー参照
1 創傷処置 (褥瘡の処置を除く)	☐	☐	☐	☐
2 呼吸ケア (喀痰吸引のみの場合を除く)	☐	☐	☐	☐
3 注射薬剤3種類以上の管理	☐	☐	☐	☐
4 シリンジポンプの管理	☐	☐	☐	☐
5 輸血や血液製剤の管理	☐	☐	☐	☐
6 専門的な治療・処置	☐	☐	☐	☐
↳ 抗悪性腫瘍剤の使用 (注射剤のみ)	☐	☐	☐	☐
↳ 抗悪性腫瘍剤の管理	☐	☐	☐	☐
↳ 麻薬の使用 (注射剤のみ)	☐	☐	☐	☐
↳ 麻薬の管理、輸注、注射の管理	☐	☐	☐	☐
↳ 抗凝固剤の使用	☐	☐	☐	☐
↳ 免疫抑制剤の使用 (注射剤のみ)	☐	☐	☐	☐
↳ 真正菌の使用 (注射剤のみ)	☐	☐	☐	☐
↳ 抗不整脈剤の使用 (注射剤のみ)	☐	☐	☐	☐
↳ 抗血栓性薬の持続点滴の使用	☐	☐	☐	☐
↳ ドレナージの管理	☐	☐	☐	☐
↳ 無菌治療室での処置	☐	☐	☐	☐
7 救急搬送後の入院	☐	☐	☐	☐

入力中... 前頁Do クリア 保存

病棟日誌を自動で作成

入退院の動態や病床利用率を自動集計。勤務表と連携して勤務者も反映し、手書き・転記をなくします。

看護必要度・ADL評価

令和8年度改定に対応。オーダー情報を参照して判定できる項目も。ADL・医療区分の入力にも対応。

療養型から地域包括ケアまで、病棟に合わせて

病棟タイプ	主な対応機能	今後の追加予定
療養型病院	ADL・医療区分、看護計画、褥瘡管理、持参薬管理、 検温表、指示簿、ベッドマップ	リスク管理（転倒転落など）
回復期リハビリ病棟	実施3点認証、リハビリ予定・実施の一元管理、ADL 評価	FIM評価など
地域包括ケア病棟	看護必要度、入院予約、空床予測、在院日数分析、転 室・転棟	在宅復帰支援・多職種連携
ケアミックス病院	複数病棟のタブ切替、病棟横断の指示アラート、病棟 日誌の自動作成	—

💡 慢性期・回復期を中心に、病棟タイプごとの機能を段階的に拡張していきます

導入支援パッケージ — 約60日で病棟に定着



パッケージに含まれるもの

導入設定（マスタ・テーブル設定） / 研修資料の作成と研修の実施 / 運用マニュアルの作成

💡 「入れて終わり」にしない。病棟スタッフが使いこなせるまで弊社が伴走します

災害・障害時にも止まらない医療を



地震・水害・停電など
サーバー機器の故障



- ✓ データは冗長化で常時バックアップ
- ✓ ネット環境があればどこでもアクセス
- ✓ 国内データセンターで安全に運用

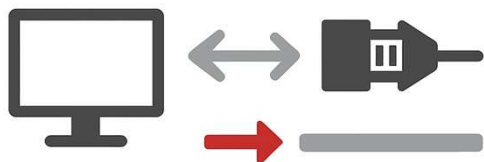


💡 自然災害やサーバー故障など、不測の事態にもクラウドなら安心

非常時の備え：トラブル対策の具体例

回線障害や端末トラブルなど、院内で起こりうる“もしも”にも備えた安心設計。クラウド型だからこそ可能な多層的な対応で、診療を止めません。

回線の二重化



通信回線を二重化しておけば、予備回線で業務を継続できます

HTML参照カルテ



ネットワークトラブル時も、最新のカルテをHTML形式で自動保存しているので参照可能。

端末トラブル時も



クラウド型だから、別PC・タブレットでログインすれば即座に業務再開。端末依存のリスクを軽減します。

💡 診療を止めないための“現場目線”の備えも万全。
万が一の時にこそ、クラウドの強みが活きます。

セキュリティと運用体制

医療情報を守るため、AHISでは次の対策を実施しています



国内データセンターで運用

院内サーバー不要。データは国内で管理



通信の暗号化

院内端末とサーバー間の通信を暗号化



ICカード+PINの二要素認証

ガイドライン要件に対応（オプション）



管理接続の制限

サーバーへの保守接続は接続元を限定



データの冗長化とバックアップ

障害時にも診療情報を保全



非常時の参照カルテ

回線障害時もHTML参照カルテで閲覧可能



詳細なセキュリティ仕様は、ご契約前に開示いたします

医療DXに対応した“クラウド電子カルテ”

医療DXの方向性に沿って、現場で使えるDXを提供

- ✓ オンライン資格確認・電子処方箋に対応済み
- ✓ 院内サーバー不要のフルクラウド型電子カルテ
- ✓ バイタル自動入力・電子カルテ共有サービスなど、
現場に役立つ機能を順次拡充



オンライン
資格確認連携



電子処方箋



バイタル
自動入力

(※開発中)



電子カルテ
共有サービス

(※上記はすべてオプション対応となります)

医療DXの本丸、電子処方箋で業務が変わる

入力ミス・確認漏れを防ぎ、薬局との連携もスムーズに

- ✓ 処方～薬局までがシームレスに
- ✓ 薬局での入力作業が大幅に軽減
- ✓ 処方内容の確認ミスを防止
- ✓ マイナ保険証とスムーズに連携



電子処方箋の発行選択

発行する 処方控え 調剤結果 電処検索 発行履歴 キャンセル

電子処方箋の発行方法の選択および確認をします

【患者情報】

27001 外来 O(-) 内科 電子処方箋
シカク イチロウ 平2年01月01日 山本武
資格 一郎 男 (34歳1ヶ月)

【選択処方箋】

指示日 2024年02月28日 指示科 (01) 内科 指示医 (001) 山本 武
発行処方 (1) 院外 登録区分 (1) 新規

【発行方法の選択】

☒ 電子処方箋 ☐ 紙の処方箋 ☐ 紙の処方箋(データ登録なし)

【同意有無の確認】(重複投薬チェックにおいて過去の処方を確認するため)

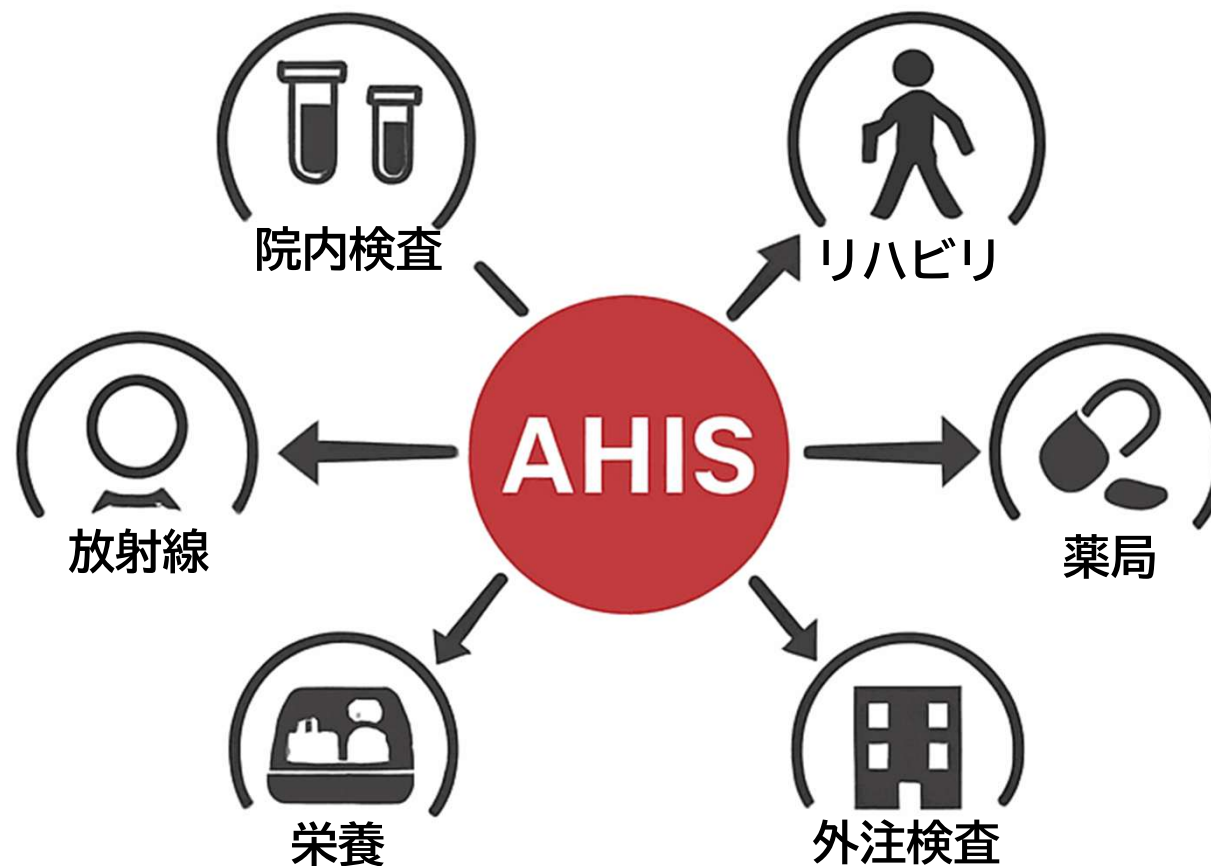
薬剤情報の提供同意 ☒ する

☐ 口頭同意あり (※薬剤情報の提供同意が[なし]になっている場合に、口頭にて同意有無を確認してください)

【発行ステータス】

💡 クラウド型のAHISなら電子処方箋の対応もスムーズに

部門システムとの連携



主要部門システムとの接続実績

PACS・検査・リハビリ・薬局など、導入施設ごとに連携対応



標準的なインターフェースで接続

CSV連携・API連携などに対応し、段階的な連携も可能

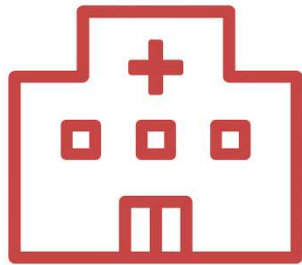


導入施設ごとに接続をご相談

接続方法・連携範囲を導入前にご提案します

💡 部門システムとつながり、業務を分断させないAHISの連携力。

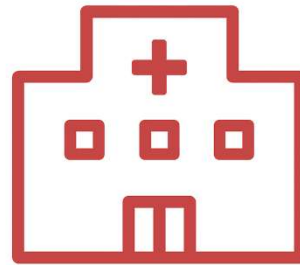
スムーズな運用とコスト抑制、選ばれる理由



平尾病院 様
(福岡県・72床)

- ・ORCAと連携し業務の効率化を実現
- ・紙カルテから全面移行、操作定着が早い

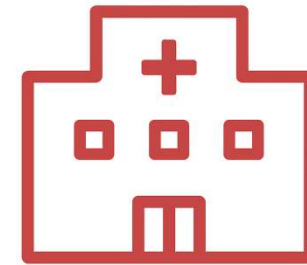
看護スタッフにも好評で、スムーズに使いこなせています



井上病院 様
(徳島県・60床)

- ・クラウドでサーバー管理が不要に
- ・既存のORCA資産をそのまま活用可能

導入後の柔軟な対応にも助けられました



花の丘病院 様
(三重県・96床)

- ・オンプレ型からクラウドへ移行でBCP対策強化
- ・UIが分かりやすくスタッフ定着がスムーズ

現場に合った設計で、導入後も安心して使えています

全国で続々と採用が進むAHIS

💡 コストパフォーマンスと運用のしやすさが評価されています。

費用比較でわかる、選ばれる理由

100床規模の病院で5年間運用した場合の費用を比較すると

(※一般的な30台構成を基本として、他社はオンプレ型電子カルテの費用を想定しています)

	AHIS (ORCA連動型カルテ)	A社 (従来型カルテ)
 初期費用 (ハード含む)	約 1,500 万円～	約 3,000 万円～
 保守費用 (年額・クラウド利用料)	約 350 万円～	約 400 万円～
 5年総額	約 3,250 万円～	約 5,000 万円～

💡 AHISなら5年間トータルで約1,700万円以上の差も可能に。

※端末や部門連携などシステムの構成により費用は異なります。AHISの年額は30台構成(税込)の目安

導入までのステップ

1

【お問い合わせ】

2

【デモ・ご提案】

3

【ご契約】

4

【準備作業および
操作指導など】

5

【運用開始】



導入に際しては病院様のご要望に、できる範囲で対応いたします。

“現場への負担を最小限に”

弊社スタッフが一貫して支援し、安心して運用を始められます。

よくある質問（FAQ）

Q. 他メーカーのレセコンでも使えますか？

→ ORCA (WebORCA) との連動が前提となります

Q. 電子処方箋・オンライン資格確認は？

→ いずれも対応済みです

Q. 導入までの期間は？

→ 一般的に6ヵ月～（最短3ヵ月）。病棟拡張オプションは約60日

Q. データはどこで管理されますか？

→ 国内のデータセンターで運用しています

Q. 標準型電子カルテ・認証制度への対応は？

→ 国の制度設計の動向を踏まえ、段階的に対応を進めています

Q. 介護請求には対応していますか？

→ 介護請求ソフトとの併用でご案内しています

Q. カスタマイズはできますか？

→ 標準機能でのご提供が基本です。ご要望にはできる範囲で対応いたします

Q. 導入後のサポートは？

→ リモートメンテナンスにてサポートいたします

お問い合わせ先

ご希望にはできる範囲で対応いたしますので、
まずはお気軽にご相談いただければ幸いです。

お電話でお問い合わせ

087-867-6658

受付時間：平日9:00～17:30

 **株式会社 エイトス**

フォームからお問い合わせ

AHIS電子カルテ



<https://ahis.ait.s.jp/>



ご希望に応じたデモも可能です。